平成三十年度

弥彦白書

令和元年八月

弥彦村役場

目　次

トピックス　平成 30 年度　弥彦村の主な事業

①弥彦産米のブランド化　－伊彌彦米－　8

②新たな観光拠点「おもてなし広場」の創設　9

③防犯カメラの設置　10

④開設 68 周年記念競輪「ふるさとカップ」　11

⑤地域包括ケアシステム構築の推進　12

⑥燕市との水道事業広域化　13

⑦学校施設改修事業　14

第１　安全良好な生活基盤の確保の取り組み

１　村民の安全確保の推進　15

（１）防災活動の推進　15

①防災訓練の実施　15

②災害対策事業　15

③災害協定　15

（２）交通安全活動　15

①交通安全の啓蒙普及　15

②道路交通環境の整備　16

③高齢者運転免許自主返納支援事業　16

（３）防犯の推進　16

①防犯カメラの設置　16

②通学路の安全確保　16

２　生活基盤の維持・保全　17

（１）下水道の管理　17

①下水道施設の計画的な更新　17

②雨水排水路整備　17

（２）水道の運営・管理　17

①燕市との水道事業広域化　17

②老朽化した送・配水管の布設替え　17

（３）村道の管理　17

①村道の補修等　17

②除雪の実施　18

（４）公共交通　19

①やひこ号　19

②おでかけきららん号 19
（５）公共施設の整備・利活用状況 19
①公共施設総合管理計画 19
第２　子育て、教育環境の充実に向けた取り組み
１　小中学校の運営 20
（１）施設別・学年別児童生徒数の推移 20
（２）小中学校の主な事業 21
①保・小・中一貫教育推進事業 21
②学力向上対策事業 21
③外国語活動の充実 21
④特別支援教育の充実 21
⑤学校施設改修事業 22
⑥学校運営協議会の設置（コミュニティ・スクール） 22
（３）家庭学習の支援 22
①土曜学習 22
②サマースクール 22
③放課後学習 22
２　保育園の運営 23
（１）施設別・年齢別園児数の推移 23
（２）各種保育事業 23
①乳児保育事業 23
②延長保育事業 23
③一時保育事業 23
④保育士の専門研修事業 23
３　放課後児童クラブ（キッズ）の運営 23
（１）運営の概要・利用状況 23
①開設時間 24
②開設場所 24
③登録人数 24
４　休日子育て支援事業の運営 24
（１）事業の概要 24
５　子育て支援センター事業の運営 25
（１）利用者数の推移 25
６　医療費助成等の実施 25
（１）子ども医療費助成事業 25
（２）ひとり親家庭等医療費助成事業 25
（３）児童手当支給事業 25

（４）児童扶養手当 26
（５）特別児童扶養手当 26
（６）乳児紙おむつ購入費助成事業 26
（７）チャイルドシート購入費補助事業 26
（８）う蝕予防事業 26
（９）病児病後児保育事業 26
第３　社会教育の推進
１　図書室の利用促進 27
２　美術館の運営 27
３　生涯スポーツの振興 28
（１）第 69 回村民体育祭 28
（２）第 17 回弥彦ワールドカップ 28
（３）第 2 回新潟県自転車競技選手権ﾛｰﾄﾞﾚｰｽ弥彦大会 28
４　文化財の保護活動 28
（１）弥彦村の文化財 29
（２）旧武石家住宅の入場者数 29
（３）弥彦村ふるさと学校の公開 29
（４）天然記念物の樹勢回復事業 29
５　その他の社会教育 30
（１）成人式の開催 30
（２）青少年教育の実施 30
（３）「弥彦を描く」写生会・公募展の実施 31
第４　住民サービス・福祉の充実に向けた取り組み
１　住民サービスの着実な実施 32
（１）平成 30 年度の証明書等の発行事務 32
（２）マイナンバーカードの交付事務 32
（３）パスポートの交付事務 32
（４）本人通知制度 32
（５）人権擁護・啓発の取り組み 33
（６）消費者被害の防止 33
２　高齢者福祉の着実な実施 34
（１）高齢者福祉の主な事業 34
①地域福祉事業 34
②高齢福祉事業 34
③地域支援事業 34
④老人クラブ助成事業 34
（２）認知症初期集中支援事業 34

（３）生活支援体制整備事業　34
（４）介護予防・自立支援のための地域ケア個別会議　34
３　障がい者福祉の着実な実施　35
（１）重度心身障害者医療費助成事業　35
（２）精神障害者医療費助成事業　35
（３）在宅障害者福祉事業　35
（４）自立支援事業　35
（５）地域生活支援事業　35
４　安心できる医療・介護の実現　35
（１）国民健康保険の運営　35
（２）後期高齢者医療の事務　36
（３）介護保険の運営　36
（４）国民年金の事務　36
（５）健康増進事業　36
（６）住民健診事業　37
（７）がん検診事業　37
（８）予防接種事業　37
（９）結核予防事業　37
(10) 精神保健・自殺対策事業　37
(11) 母子保健衛生事業　37
(12) 歯科保健事業　37
①健口長いき歯科健診（後期高齢者歯科健診）　38
②胃がんリスク検診　38
③妊産婦医療費助成事業　38
５　地域における福祉施設の運営　38
（１）高齢者福祉施設管理運営事業　38
（２）地域交流施設管理事業　38
（３）高齢者総合生活支援センター管理運営事業　38
第５　産業の振興に向けた取り組み
１　農業の振興　39
（１）新規就農希望者支援　39
（２）担い手支援　39
（３）農地の集積・集約化　40
（４）農地の整備促進　40
（５）食の安全・安心　－ＪＧＡＰ－　41
（６）環境保全型農業　41
（７）弥彦村産米のブランド化　42

２　観光の振興　43
（１）観光入込客数の動向　43
（２）観光施設の活用　43
①おもてなし広場　43
②駅前広場湯のわ　43
③ヤホール　43
（３）主な祭事・イベントの実施　43
（４）新たなイベント等の取り組み　44
①菊づくり教室　44
②伊勢ヶ濱部屋夏合宿　44
③山の日イベント　44
（５）広域観光の推進　44
①燕市との広域観光　44
②新潟空港二次交通事業（新潟市との広域観光）　44
（６）外国人観光客への対応　44
（７）まちあるきの推進　44
（８）地域おこし協力隊　45
３　商工業の振興　45
（１）中小企業の資金調達支援　45
①信用保証協会の保証料の負担　45
②産業育成資金預託金の預託　45
第６　広域的な交流の促進
１　国際交流の推進　46
（１）モンゴル国との取り組み　46
①国際交流事業　46
（２）新たな交流の取り組み　46
①墨田区交流事業　46
②地方創生推進交付金関係の取り組み　46
第７　財政健全化の取り組み
１　歳入・歳出の状況　47
（１）歳入・歳出の構造　47
（２）村債の状況・償還見通し　47
（３）職員数の推移　49
①正職員　49
②臨時職員等　49
２　ふるさと納税　50
（１）ふるさと納税の状況　50

３　税収の状況　51
（１）税目別税収等の推移　51
４　競輪運営の改善　52
（１）競輪開催の状況　52
①開催日数　52
②入場者数　52
③売上　52
④一般会計への繰り出し金　52
（２）収益改善に向けての取り組み　53
①ミッドナイト競輪の開催　53
②ナイター競輪開催及び特別競輪誘致　53
（３）選手育成事業及びバンク活用事業　54
①「CLUB　SPIRITS」エキスパートクラス　54
②「CLUB　SPIRITS」フレンドリークラス　54
③タイムトライアル大会　54
（４）弥彦競輪場整備事業　55
①弥彦けいりん会館改修　55
第８　人口減少対策
１　人口移動および人口動態　57
２　人口減少問題への取り組み　57
（１）移住促進事業　57
①弥彦村移住促進事業費補助金　57
②新潟県の各種移住補助金　58
③U・Ｉターンへの取り組み　58
（２）空き家問題・空き家バンク　58
①空き家等の対策に関する協定締結　59
②空き家住宅リフォーム助成　59
③空き家バンク　59
（３）婚活事業　59
①お寺 DE 縁結び　59
②燕・弥彦ｺﾞｰﾙﾃﾞﾝﾙｰﾄで結ぶ独身社員交流ツアー　59
③弥彦大戸企業団地異業種交流会　59
第９　その他の行政事務
１　広報発行業務　60
２　選挙事務　60

トピックス　平成 30 年度　弥彦村の主な事業

①弥彦村産米のブランド化　- 伊彌彦米ー

平成 27 年度に弥彦村特別栽培米ブランド化推進プロジェクトを立ち上げ、弥彦村産米のイメージアップと農家所得の向上を図るためのブランド化を目的に、弥彦村産米の名称を公募した結果、平成 28 年 4 月に「伊彌彦米（いやひこまい）」と決定した。

なお、「伊彌彦米」とは、弥彦村に住所を有する農業者及び農業法人が生産する新潟県特別栽培農産物認証制度に基づく認証を取得した特別栽培米のコシヒカリを指し、農業振興及び農産物の販路拡大等のため広くＰＲを行っている。

【平成 30 年度に実施した事業】

・伊彌彦米普及促進事業　　996 千円

【令和元年度に実施する事業】

・伊彌彦米普及促進事業　　1,000 千円

■「伊彌彦米」の名称及びロゴデザイン使用

…9 法人

伊彌彦米を
彌彦神社に奉納

②新たな観光拠点「おもてなし広場」の創設

弥彦公園前、旧弥彦グランドホテル跡地に、観光と農業の一体的振興を図る拠点となることを目的に、国の地方創生の交付金を活用した施設「おもてなし広場」を整備した。

まずは平成 28 年度に地方創生加速化交付金を基に “農産物直売所” を整備し、平成 29 年 3 月オープン。続いて平成 29 年度に地方創生拠点整備交付金を基に“フードコート”、“喫茶店”、“チャレンジショップ”、“そば打ち道場”、“農産物加工施設”、“配送センター”、足湯を含む“雁木”等を整備し、平成 30 年 3 月 30 日（金）にグランドオープンした。

農産物直売所では地元野菜の販売、喫茶店は弥彦妓芸組合が運営する等、地域の活性化を担う一方、フードコートでは粟島浦村のあごだしと香川県琴平町の讃岐うどんを使ったうどんを提供する等、広域連携の活性化も担っている。

■おもてなし広場全体の管理・運営…（一社）弥彦観光協会

■テナントの状況

民間の知恵・活力を活かした管理・運営で、地域の賑わいを創設し、新たな弥彦観光の拠点を目指している。

施設名	事業所	施設名	事業所
農産物直売所	㈱弥彦さやや	ﾁｬﾚﾝｼﾞｼｮｯﾌﾟ	㈱真米
フードコート	弥彦温泉観光旅館組合	農産物加工施設	㈱リトモ
	㈱さかたや		竜のひげ
喫　茶　店	弥彦妓芸協同組合		

■平成 30 年度のおもてなし広場の入込客数…16 万 8 千人

③防犯カメラの設置

【平成 30 年度に実施した事業】

新潟市で発生した痛ましい事件を受け、弥彦村では子どもたちの危険を少しでも取り除くため、登下校時における総合的な防犯対策を強化する必要があるという観点から、関係者約 50 人が集まり「弥彦村通学路の安全を考える会」を開催。この会で地区ごとに検討を行い、通学路において防犯カメラの設置がふさわしいと思われる場所を選定し、６か所８台の防犯カメラを設置した。

【令和元年度に実施する事業】

新潟県が新たに制定した防犯カメラ設置の補助制度「地域の防犯力向上推進事業補助金」を活用し、さらに防犯カメラの設置を進め、地域の安全性を高める。

④開設 68 周年記念競輪「ふるさとカップ」

開設 68 周年記念競輪「ふるさとカップ」は、弥彦競輪場で開催する年間最高のレース。トップ選手が集結し、迫力あるレースが行われることをＰＲし、入場及び売上促進を図った。

台風や大雨等の影響により一部の競輪場・場外売場で発売ができなくなるなど、売上は 47 億 3,581 万 600 円（前年度比 91.6%）と２年連続で減少となった。

■開 催 日　7 月 28 日（土）から７月 31 日（火）までの４日間

■臨時場外　・場間場外　40 場 157 日（40 場 159 日）

・専用場外　69 場 274 日（71 場 284 日）

■売上目標　5,500,000,000 円（ 5,400,000,000 円）

■売 上 額　・総額　4,735,810,600 円（ 5,171,673,600 円）

・本場　91,488,600 円（ 106,101,500 円）

・電話投票　813,682,200 円（ 851,388,900 円）

・民間サイト　463,506,200 円（ 417,876,400 円）

・臨時場外　3,352,408,900 円（ 3,774,511,700 円）

・重勝式　14,724,700 円（ 21,795,100 円）

※（　　）は前年度記念競輪実績

■優勝選手　諸橋　愛（新潟）　Ｓ級Ｓ班・79 期

⑤地域包括ケアシステム構築の推進

高齢者が要介護状態となることを予防すると共に、要介護状態となった場合においても可能な限り地域において自立した生活を営むことができるよう、地域包括支援センターによる包括的な相談及び支援を実施し、多様な主体の参画による介護予防・日常生活支援総合事業を行った。また、今後も住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が地域で包括的に確保されるための地域包括ケアシステム構築の推進に向けて取り組んでいる。

【平成 30 年度に実施した事業】

■生活支援体制整備事業

高齢者が地域とのつながりや生きがいを持って安心して暮らせるよう、多様な生活支援や介護予防、社会参加ができる仕組みづくりを推進するため、生活支援コーディネーターや協議体が中心となってフォーラムや勉強会を開催した。

・やひこ支え合いのむらづくりフォーラム

開催日：平成 30 年 12 月 8 日　　参加者数：119 名

・やひこ支え合いの地域づくり勉強会

開催日：平成 31 年 1 月 15 日　　参加者数：37 名

■介護予防・自立支援のための地域ケア個別会議

介護保険サービスを利用している方の生活の困りごとの解決や本人が望む生活の実現に向けて、医療や介護の関係者（ケアマネジャー、リハビリ職、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士など）が具体的な方法を話し合い、今後の支援につなぐ「介護予防・自立支援のための地域ケア個別会議」の取り組みを始めた。地域ケア個別会議の結果、弥彦村全体の地域課題と考えられることは、村の政策として検討を行っている。

【令和元年度に実施する事業】

■共生型の地域の居場所の立ち上げ支援

地域のつながりや支え合いの意識を更に深めるため、フォーラムや勉強会を開催し、誰もが利用できて地域の交流拠点となる共生型の居場所の立ち上げに向けて関係者と共に取り組む。

⑥燕市との水道事業広域化

弥彦村と燕市は、浄水場の老朽化という共通の課題を抱えていた。そこで、水道事業を統合し、共同で浄水場を更新整備することにより、建設コストを削減できるなどの効果が見込めることから、水道事業の広域化を推進している。

平成 30 年２月７日、弥彦村と燕市の水道事業の統合に関する基本協定を締結し、水道事業の統合に関する基本的事項を確認した。

■統合の方法及び経営主体

弥彦村上水道事業、燕市上水道事業、燕市吉田上水道事業、燕市分水上水道事業をそれぞれ廃止し、新たな水道事業を創設。経営は燕・弥彦総合事務組合が行う。

■統合の時期

新たな水道事業の経営は平成 31 年４月１日から行っている。

■水道料金

水道料金は広域化基本計画に基づく統合浄水場の供用開始時期（2025 年予定）に、燕市の水道料金水準で統一

⑦学校施設改修事業

小学校は昭和46年建築から50年、中学校は平成元年建築から30年が経過し、施設の老朽化が顕著となっているため、小学校の大規模改造を複数年で計画し、初年度として高学年棟のリニューアルの他、空調設置を行った。

【平成30年度に実施した事業】

小学校大規模改造（Ⅰ期）工事事業費　41,148千円

【令和元年度に実施する事業】

施設の老朽化対策や、学習環境改善のため小学校大規模改造Ⅱ期工事で中学年棟、特別教室・管理棟の改修を、また、小学校普通教室・特別教室および中学校特別教室へ空調設備を設置する。

小学校大規模改造（Ⅱ期）工事事業費　181,478千円
小学校空調設置工事事業費　49,256千円
中学校空調設置工事事業費　42,390千円

第１　安全良好な生活基盤の確保の取り組み

１　村民の安全確保の推進

（１）防災活動の推進

①防災訓練の実施

【平成 30 年度に実施した事業】

各地区の自主防災組織単位で防災訓練を実施し、より現場の動きを確認できる形で実施した。

【令和元年度に実施する事業】

災害警戒区分が変更され、レベルに応じた動きが必要になっているので、どのような対応が必要になるか、職員の動きを明確にする。

②災害対策事業

【平成 30 年度に実施した事業】

ハザードマップの配布および防災メールの登録促進を行った。引き続きこれらの活動を継続する。

③災害協定

【平成 30 年度に実施した事業】

大規模災害時における「チームにいがた」による総合応援等に関する協定を締結した。

【令和元年度に実施する事業】

長野県青木村に続き、山形県飯豊町と災害協定締結に向けて調整を進めている。

（２）交通安全活動

①交通安全の啓蒙普及

【平成 30 年度に実施した事業】

季節ごとの交通安全運動に併せて、西蒲警察署、弥彦村交通安全協会と協力し交通安全活動を実施。これらの活動についてはより効果が発揮できるように工夫しながら継続していく。

【令和元年度に実施する事業】

交通死亡事故も発生し、事故が増加傾向にあることから、交通安全に関する緊急会議を開催し、積極的に啓発活動を行っている。

②道路交通環境の整備

【平成 30 年度に実施した事業】

地域の要望を踏まえカーブミラーや道路照明の修繕、交通事故防止看板の設置を行った。

③高齢者運転免許自主返納支援事業

【平成 30 年度に実施した事業】

近年増加傾向にあり、社会的な問題となっている高齢者の交通事故防止のため、自主的に運転免許を返納した方にタクシー利用券等の支援を行った。引き続き事業を行う。

（３）防犯の推進

①防犯カメラの設置

トピックス　平成 30 年度の主な事業「③防犯カメラの設置」参照

②通学路の安全確保

通学路の安全確保のため、通学路交通安全プログラムを策定し関係機関と連携しながら対策を講じているほか､「地域の子どもは地域で守る」との考えから弥彦村セーフティ・スタッフを立ち上げ、見守り活動を行っている。

【平成 30 年度に実施した事業】

・通学路交通安全推進会議

警察、道路管理者（新潟県、村）、学校、教育委員会で組織する会議。小学校ＰＴＡの危険箇所点検結果を基に合同点検を実施し、対策を検討した。

・弥彦村セーフティ・スタッフ

子どもたちの見守り活動のため各地区より選出いただき、セーフティ・スタッフとして 110 名を委嘱した。

・通学路の安全を考える会

小学校ＰＴＡ地区代表委員、セーフティ・スタッフが参加し、通学路の危険箇所の共有や地域の見守りについて課題や対策を協議した。

・通学路ブロック塀点検

平成 30 年６月 18 日に発生した大阪北部地震により塀が倒壊し２人が犠牲になったことから、通学路のブロック塀点検を実施した。

２　生活基盤の維持・保全

（１）下水道の管理

①下水道施設の計画的な更新

【平成 30 年度に実施した事業】

・下水道マンホールポンプ機械・電気設備更新（継続）
　マンホールポンプ場機械・電気設備更新を行った。
　（単独１か所、補助１か所）

・老朽化した管渠の改築更新（継続）
　弥彦２号幹線のフューム管（φ400）の管更生を行った。
　Ｌ＝57.3m

【令和元年度に実施する事業】

・令和２年度からの補助事業化に向けストックマネジメント事業計画策定業務を発注する。（新規）

・下水道事業認可変更及び都市計画決定の変更を行う。（継続）

②雨水排水路整備

【平成 30 年度に実施した事業】

・排水路整備事業（継続）
　美山地内の排水路整備ＨＦ1000×800（Ｌ＝148.1m）を実施した。

【令和元年度に実施する事業】

・排水路整備事業（継続）
　新たに川崎、矢作、山崎地内の排水路整備を実施する。

（２）水道の運営・管理

①燕市との水道事業広域化

トピックス平成 30 年度の主な事業「⑥燕市との水道事業広域化」参照

②老朽化した送・配水管の布設替え

【平成 30 年度に実施した事業】

・高区送配水管整備事業（継続）
　上泉地内の高区送配水管の整備ＤＩＰφ300（Ｌ＝160.9m）を実施した。また、来年度工事用用地 1,364 ㎡を取得した。

（３）村道の管理

①村道の補修等

・日常の交通に支障となる、破損した舗装の路面修繕や緊急時の維持修繕を行う。
・生活に密着する道路の安全性と利便性を向上させ、車両交通円滑化のための道路環境整備を図る。
・古くなったり、流下能力の不足している側溝の布設替えを行う。
・道路冠水防止対策として、既存の排水施設（ポンプ、配管、制御盤等）の更新を行う
・橋梁の長寿命化対策として橋梁定期点検とその点検結果に基づいた修繕計画の策定及び修繕工事を行う。

【平成 30 年度に実施した事業】

事　　業　　名	事　業　費
村道広域幹線 10 号線の舗装修繕Ｌ＝458m	19,371,960 円
村道美山大戸線の道路改良（舗装）Ｌ＝494m	14,514,120 円
村道浅尾線の道路改良（拡幅）Ｌ＝100m	22,282,560 円
村道二松団地中山線の道路改良（舗装）Ｌ＝137m	22,708,080 円
村道弥彦中山線側溝布設替えＬ＝17.5m	1,296,000 円
村道観音寺麓線側溝布設替えＬ＝21.0m	1,274,000 円

【令和元年度に実施する事業】

・弥彦中割地内にて老朽化した側溝の布設替えを行う。
・道路冠水防止対策として大戸アンダーパスの配水管更新を行う。
・通学路の安全対策として村道美山大戸線の路側標示（グリーンベルト）、側溝の布設替えを行う。
・老朽化による機能不全が著しい、新橋（矢城橋）の補修を行う。
・幅員狭小で通学路交通安全プログラムで要対策箇所となっている村道浅尾線の道路改良（拡幅）を行う。
・橋梁定期点検（24 橋）および橋梁長寿命化修繕計画策定業務（村内全橋梁対象）を発注する。

②除雪の実施

冬期の安全・安心に通行できる道路を確保するため、細やかな除雪、融雪事業の推進を図る。

【平成 30 年度に実施した事業】

事　　業　　名	事　業　費
麓一区地内消雪パイプ更新Ｌ＝266m	22,372,200 円
麓二区地内消雪パイプ更新Ｌ＝401m	29,045,000 円
矢作四ツ家地内消雪パイプ更新Ｌ＝107m	3,250,800 円

平野地内消雪パイプ更新Ｌ＝129m	3,102,840 円
井田地内消雪用井戸堀替え	10,981,440 円
村道全線除雪作業（2 回）	6,075,916 円

【令和元年度に実施する事業】

・麓一区地内で消雪パイプの更新を行う。
・美山地内で消雪パイプの改修を行う。
・降雪時（積雪量車道 10ｃｍ以上、歩道 20ｃｍ以上）、村道全線にて除雪作業を行う。

（４）公共交通

①やひこ号

弥彦村と燕市吉田地区を結ぶバス。乗車料金は一律 100 円。平成 27 年の運行開始以来利用者は増加しており、平成 30 年度は過去最高の利用者数を記録している。

【やひこ号年度別乗車実績】

区　分	運行日数（日）	乗車人数（人）	1 日平均（人）	前年度比（%）	
				乗車人数	1 日平均
27 年度	243	15,400	63.37	－	－
28 年度	243	17,114	70.43	+11.1%	+11.1%
29 年度	244	18,533	75.95	+8.3%	+7.9%
30 年度	244	19,715	80.80	+6.4%	+6.4%

②おでかけきららん号

弥彦村・燕市吉田地区・分水地区内であれば１時間以内でどこへでも行けるデマンド交通。利用料は１回 300 円で、利用には予約が必要。やひこ号同様に利用状況は増加傾向にあるが、燕市に比較すると利用率はそれほど高くない。

（５）公共施設の整備・利活用状況

①公共施設総合管理計画

老朽化した公共施設等の維持・更新量が増加することが考えられることから、公共施設等の現状を把握し、人口や公共施設等の更新費など将来の推測を行った上で、公共施設等の効率的かつ円滑な維持管理の実現と財政負担の軽減・平準化することを目的とした公共施設総合管理計画を平成 29 年３月に策定。今後は令和２年度までに公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を策定するとともに、公共施設等総合管理計画の見直しを図る。

第２　子育て・教育環境の充実に向けた取り組み

１　小中学校の運営

（１）施設別・学年別児童生徒数の推移

【平成 30 年度】

小学校児童数

学年	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
児童数	68	64	88	71	71	85	447
学級数	3	2	3	3	2	3	16
特別支援学級	3						

中学校生徒数

学年	１年	２年	３年	計
生徒数	64	82	83	229
学級数	2	3	3	8
特別支援学級	2			

【令和元年度】

小学校児童数

学年	１年	２年	３年	４年	５年	６年	計
児童数	64	68	63	87	71	71	424
学級数	2	3	2	3	3	2	15
特別支援学級	3						

中学校生徒数

学年	１年	２年	３年	計
生徒数	79	63	82	224
学級数	3	3	3	9
特別支援学級	2			

【参考】

令和２年度以降弥彦小学校新１年生児童数見込み（令和元年７月 17 日現在）

年度	令和２	令和３	令和４	令和５	令和６	令和７
児童数	61	50	63	46	46	47

（２）小中学校の主な事業

小･中学校では教育目標や目指す学校像の実現のためグランドデザインを作成し、学校運営を行っている。

・小学校

教育目標「心身ともに健康で、主体的・創造的に生きる児童の育成」
目指す学校像「児童一人一人が自分のよさと力を発揮できる学校」

・中学校

教育目標「知性をみがこう」「協同の心をもとう」「強じんなからだをつくろう」
目指す学校像「生徒・保護者・職員・地域が誇りをもてる学校」

【平成 30 年度に実施した事業】（金額は実績額）

①保・小・中一貫教育推進事業

保育園・小学校・中学校が緊密に連携を図り 12 年間を見通した教育や特別な支援が必要な子への継続支援を行うため、連携会議や合同での特別活動、英語教育、特別支援教育の研修会を実施した。また、生活習慣改善のため眠育をテーマに児童、生徒、保護者を対象に講演会を実施した。

②学力向上対策事業

学習指導支援講師を小･中学校にそれぞれ４名配置し、ティームティーチングや個別指導で効果的な活用を図った。

学習指導支援講師配置　15,738,670 円

③外国語活動の充実

令和２年度からの新学習指導要領全面実施に伴い、小・中学校合同での研修や移行期間として外国語活動の授業を小学校３・４年生で行うため、外国語活動支援員を配置し活用した。

ＡＬＴ、外国語活動支援員配置
1,953,622 円

④特別支援教育の充実

小中学校の特別支援学級に対象児童、生徒が落ち着いた環境で授業を受けることが出来るよう介助員を小学校に５名、中学校に２名配置した。また、療育施設の専門職員による小学校への巡回訪問を実施し、授業等に集中できない児童への対応で連携を図った。

特別支援学級介助員配置　　9,474,757 円
療育施設連携巡回訪問　　550,000 円

⑤学校施設改修事業

トピックス　平成 30 年度の主な事業「⑦学校施設改修事業」参照

【令和元年度に実施する事業】（金額は予算額）

⑥学校運営協議会の設置（コミュニティ・スクール）

学校と村民等が「地域でどのような子どもたちを育てるのか」「何を実現したいのか」という目標や願いを共有し、地域とともに特色ある学校づくりのため小・中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとする。

地域教育コーディネーター配置　490 千円

（３）家庭学習の支援

主体的に学ぶ習慣付けや課題の解決の指導を通し実力アップを図る学習支援を実施した。講師は教員ＯＢ、学習指導支援講師の他、新潟国際情報大学からも派遣を受けた。

【平成 30 年度に実施した事業】

①土曜学習（県土曜学習モデル事業補助金）

小学校５年生～中学校２年生対象

参加者数　44 名

期日　７月～８月（計６回）

②サマースクール

中学校３年生対象

参加者数　46 名

期日　７月 26 日～８月７日

③放課後学習

中学校３年生対象

参加者数　31 名

期日　10 月～11 月（数学、英語各４回）

２　保育園の運営

（１）施設別・年齢別園児数の推移

【平成 30 年度園児数】（平成 30 年４月１日現在）

	未満児	3 歳以上	合　計
弥彦保育園	32	73	105
二松保育園	32	63	95
ひかり保育園	18	41	59

【令和元年度園児数】（平成 31 年４月１日現在）

	未満児	3 歳以上	合　計
弥彦保育園	25	68	93
二松保育園	21	69	90
ひかり保育園	16	38	54

（２）各種保育事業

【平成 30 年度に実施した事業】

①乳児保育事業

６か月～１歳未満児の乳児に対して、保育園で保育を実施した。

②延長保育事業

通常利用時間以外において、保育園で保育を実施した。

③一時保育事業

一時的に家庭において保育が困難となった幼児について、保育園で一時的に保育を実施した。

④保育士の専門研修事業

多様化する保育需要に応えるため、保育の質の向上を目的に保育士が各種研修会に参加した。（県保育士会主催等研修 27 名参加、職員主催研修会 27 名参加、きらら療育園見学研修８名参加。）

３　放課後児童クラブ（キッズ）の運営

（１）運営の概要・利用状況

保護者が仕事等で在宅しない家庭の児童のために、放課後児童クラブ（キッズ）を開設し、運営している。

①開設時間

平常授業のある日	放 課 後 ～ 午後 6 時 30 分
学校休業日（春・夏・冬休み・代休日など）	午前 8 時 ～ 午後 6 時 30 分
土曜日	午前 8 時 ～ 午後 5 時 30 分

※土曜日のキッズは夢の木はうすのみで開設
※長期キッズ（夏休み・冬休み・春休み）は農村環境改善センターのみで開設
※日曜日、祝祭日、年末年始、お盆は開設しない

②開設場所
・夢の木はうす（夢の木キッズ）
・農村環境改善センター（矢作キッズ）（長期キッズ）

③登録人数

	平成 30 年度	令和元年度
夢の木キッズ	45	50
矢作キッズ	43	38
長期キッズ	39	42

【平成 30 年度に実施した事業】

運営費	19,065 千円	（前年度	19,840 千円）
うち利用料	5,449 千円	（前年度	5,296 千円）
うち国県補助金	5,392 千円	（前年度	6,964 千円）
利用延人員数	15,686 人	（前年度	14,165 人）
平均利用者数	50.0 人／日	（前年度	49.7 人／日）
長期キッズ延数	523 人	（前年度	677 人）

4　休日子育て支援事業の運営

（１）事業の概要

就学前の乳幼児と保護者が休日に安心して遊べる場を提供し、親子のふれあいと保護者同士の交流を深めることができるように休日子育て支援事業を実施している。

・開設場所　夢の木はうす
・開設時間　日曜・祝祭日　午前 9 時～11 時 30 分

【平成 30 年度利用状況】
・41 組 109 名（親：48 名　子ども：61 名）

５　子育て支援センター事業の運営

（１）利用者数の推移

核家族化・少子化が進む中、乳幼児を持つ親を対象に親子の交流の場、遊びの場を提供するとともに、育児相談に応じるなど子育て支援を実施している。

【平成 30 年度に実施した事業】

・子育て支援センター利用人数　　4,782 人（前年比 82 人増）
・子育て相談件数　　13 件（前年比　２件増）

６　医療費助成等の実施

（１）子ども医療費助成事業

子どもの保護者の経済的負担軽減と子どもの疾病の早期発見、早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの一環として医療費助成を行うもので、平成 29 年度から対象年齢を引き上げ、出生から高校卒業年度までの児童の入院、通院の医療費の一部を助成した。

受給者数	件　　数	助　成　額
1,224 人	15,781 件	22,742,147 円

（２）ひとり親家庭等医療費助成事業

ひとり親家庭の父、母及び児童等の経済的負担の軽減、保健の向上及び福祉の増進を図ることを目的に医療費助成を行う制度で、母子・父子家庭等の児童が高校卒業年度（一定の障がいの状態にある児童は 20 歳）まで、その母子（父子）の入院、通院の医療費の一部を助成した。

受給者数	件　　数	助　成　額
151 人	1,848 件	4,159,318 円

（３）児童手当支給事業

中学卒業年度までの児童を監護する保護者等に児童手当を支給した。

手当月額	０～３歳未満	15,000 円
	３歳～中学生（第１、２子）	10,000 円
	〃　（第３子以降）	15,000 円
	特例給付者（所得制限額以上）	5,000 円

受給者数	支給対象児童数	手当支給額
578 人	959 人	127,955,000 円

（４）児童扶養手当

ひとり親家庭等の児童がいる家庭の生活の安定と自立の促進のために支給する手当の申請受付事務を行った。受給者数は 62 人。

（５）特別児童扶養手当

心身障がい児を監護養育し、一定の所得要件を満たした父又は母に支給する特別児童扶養手当の申請受付事務を行った。受給者数は 24 人。

（６）乳児紙おむつ購入費助成事業

子育てを担う世代の子育て支援を図るとともに、子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、満１歳までの乳児の紙おむつ購入に要する費用に助成を行った。

件　　数	助　成　額
185 件	1, 564, 492 円

（７）チャイルドシート購入費補助事業

子育て世帯の負担軽減を図るため、チャイルドシートの購入に対して経済的支援を行った。

件　　数	補　助　額
18 件	142, 600 円

（８）う蝕予防事業

乳児期から歯科衛生士や管理栄養士による定期的な指導を実施するとともに、1 歳以降は歯科検診やフッ素塗布を３～６か月ごとに行った。また、保育園、小中学校ではフッ素洗口を実施し、虫歯予防に努めた。

（９）病児病後児保育事業

病気や病気の回復期にある小学生以下の児童であって、集団生活が困難で、かつ保護者の事情で家庭での保育が困難な場合に、保育施設「あおぞら」で実施した。平成 30 年度利用者数は 113 人（前年比 25 人増）

第３　社会教育の推進

１　図書室の利用促進

定期的に新刊を購入し、広報やひこ等で紹介することにより利用促進を図った。また書籍整理の改善（分類、目録カード作成、書棚の整理整頓）を行った。

【図書室利用状況】

		平成 29 年度	平成 30 年度
図書室貸出状況		2,954 件 5,695 冊	2,816 件 5,415 冊
内訳	児 童 書	1,436 冊	1,342 冊
	新 刊 書	2,228 冊	2,223 冊
	小 説 等	1,595 冊	1,350 冊
	参考書等	436 冊	500 冊

・購入図書数　一般書　264 冊　児童書　71 冊　計 335 冊

・購入金額　499,846 円

２　美術館の運営

【平成 30 年度に実施した事業】

企　　画　　名	会　　期	入場者
三輪晃久　　日本画展 ―自然との心のふれあい―	H30.4.14（土）～5.13（日）	758 名
酒井保嘉　水彩画展 ―風景との出会い―	H30.5.19（土）～7.8（日）	807 名
潤いと漆　中村謙二展	H30.7.14（土）～9.2（日）	803 名
祈り　斎藤順正展 ―天空からの輝き―	H30.9.8（土）～10.21（日）	1,051 名
田中百合子　日本画展 ―女性像を描いて―	H30.10.27（土）～12.16（日）	902 名
村山雨景　染め絵の世界 ―四季の越後路　染色紀行展―	H31.2.16（土）～3.21（日）	608 名

３　生涯スポーツの振興

村内の体育施設は、弥彦体育館、総合グラウンドの他、中学校体育館の開放を実施。少年から一般成人を対象に体育協会加盟団体等が主体となる各種スポーツ行事の開催、小学生を主体とするジュニアスポーツ教室の開催、スポーツ少年団の活動が行われている。

また、スポーツ推進委員・各集落の地域スポーツ委員を中心にコミュニティスポーツを軸とした村民体育祭・弥彦ワールドカップを開催した。

その他、平成 29 年度からは新潟県自転車競技選手権大会を開催し、県内競技者の技術向上、サイクルスポーツの普及発展に取り組んでいる。

【平成 30 年度に実施した事業】

（１）第 69 回村民体育祭

開催日：６月 24 日　会場：村営陸上競技場

参加 19 チーム　総合優勝：弥彦　準優勝：矢作　第３位：観音寺

（２）第 17 回弥彦ワールドカップ

開催日：９月 30 日　会場：中学校体育館・村営陸上競技場

参加 19 チーム　総合成績　優勝：弥彦　準優勝：峰見　第３位：矢作

（３）第２回新潟県自転車競技選手権ロードレース弥彦大会

開催日：５月 27 日　会場：上泉－井田周回コース

競技者 64 名　ビギナー55 名　女子６名　中学生２名　小学生７名

【令和元年度に実施する事業】

・第 70 回村民体育祭

開催日：６月９日　会場：村営陸上競技場

参加 19 チーム　総合優勝：矢作　準優勝：弥彦　第３位：麓一区

・第 18 回弥彦ワールドカップ

開催予定日：10 月６日　会場：中学校体育館・村営陸上競技場

・第 3 回新潟県自転車競技選手権ロードレース弥彦大会

開催日：５月 26 日　会場：上泉－井田周回コース

競技者 55 名　ビギナー58 名　女子５名　中学生 13 名　小学生 14 名

４　文化財の保護活動

旧武石家住宅の公開・活用事業の実施、弥彦村ふるさと学校の公開、天然記念物（矢作の二本松、弥彦参道杉並木）の樹勢回復事業（マツクイムシ駆除薬剤散布他）の実施など国、県、村指定文化財及び国登録文化財の保護及び活用を図った。

（１）弥彦村の文化財

種　別	件　数
国指定文化財	4
県指定文化財	8
村指定文化財	15
登録有形文化財	30

（２）旧武石家住宅の入場者数

月	大人	こども	計	無料入館者	合計	入館料収入（円）
4 月	33	2	35	0	35	6, 800
5 月	40	1	41	1	42	8, 100
6 月	22	0	22	0	22	4, 400
7 月	13	1	14	0	14	2, 680
8 月	15	1	16	0	16	3, 100
9 月	15	1	16	0	16	3, 100
10 月	8	0	8	0	8	1, 600
11 月	28	2	30	0	30	5, 680
計	174	8	182	1	183	35, 460

（３）弥彦村ふるさと学校の公開

記名入館者数　267 人

（４）天然記念物の樹勢回復事業

・村指定文化財　矢作の二本松

矢作の二本松のマツクイムシ対策のため、平成 30 年度は殺虫･殺菌剤（マツグリーン）散布を実施。その他、枝支えの支柱の修繕、支障枝の剪定を実施。

・県指定文化財　弥彦参道スギ並木

弥彦参道杉並木の保護増殖のため、杉並木保存会が村の補助を受け管理を行った。

【令和元年度に実施する事業】

上記事業の他、矢作の二本松において大規模な枝折れが確認されたため、修繕を実施。

５　その他の社会教育

（１）成人式の開催

中学校卒業者と小学校６年生在校者･転入者･実行委員会で決めた人が対象。成人式の実行委員会を作り、成人式や同級会等の内容・運営を行う。

【出席状況】平成 30 年度対象者数　99 名　（令和元年度は 84 名）

成人者	１組	２組	３組	他	合計	恩師	来賓	合計
神社参拝	20	19	21		60			60
式　典	26	23	25	1	75	4	15	94
同窓会	20	18	21	1	60	3		63

（２）青少年教育の実施

【平成 30 年度に実施した事業】

・子どもわくわく教室

６月 30 日（土）「石けんでロールケーキを作ろう」参加者：親子 37 名

12 月８日（土）「クリスマスリースを作ろう！」参加者：親子９名

・親子料理教室

７月 28 日（土）「ランクアップ！朝ごはん　いつもの朝ごはんにもう１品」

参加者：親子６組

・親子科学教室

８月４日（土）「親子で光の工作」　参加者：親子 16 組（村民参加者無）

１月 19 日（土）「折染めでマイグッズを作ろう」

参加者：親子８組(19 名)（弥彦村からの参加者親子１組）

【令和元年度に実施する事業】

・子どもわくわく教室

６月 29 日（土）「ハーバリウム作り」

12 月７日（土）「バスボム作り」

・親子科学教室

８月　３日（土）「科学マジック」

１月 18 日（土）「科学工作」

・親子料理教室
８月 17 日（土）「サバイバル料理」

（３）「弥彦を描く」写生会・公募展の実施
弥彦を題材にした絵画を広く公募し、優れた作品を展示することにより、芸術文化の振興を推進するとともに魅力ある村づくりを目指すことを目的とする。

【平成 30 年度実施状況】
・2018 写生会「弥彦を描く」
開催日：４月 20 日（金）21 日（土）
講　師：日本画　藤田チヨ子　洞谷亜里佐　　穂苅春雄
　　洋　画　滝澤　徳　　本間ケイ　　中野雅友
参加者：20 日 40 名　21 日 12 名
・第 16 回「弥彦を描く」公募展
開催日：10 月 28 月日（日）～11 月 18 日（日）
会　場：弥彦村総合コミュニティセンター　9：30～16：00　入場無料
審査員：日本画　田中百合子　藤田チヨ子　穂苅春雄
　　洋　画　髙橋正則　　滝澤　徳　　中野雅友
展示数　120 点

第４　住民サービス・福祉の充実に向けた取り組み

１　住民サービスの着実な実施

（１）平成 30 年度の証明書等の発行事務

	有　料	無　料	収入額
戸・除籍謄抄本	2, 020 件	503 件	1, 160, 400 円
住民票の写し	2, 766 件	210 件	829, 800 円
印鑑証明	2, 132 件	20 件	639, 600 円
戸籍の附票	211 件	165 件	63, 300 円
閲　覧	46 件	30 件	13, 800 円
その他	185 件	43 件	55, 650 円
合　計	7, 360 件	971 件	2, 762, 550 円

（２）マイナンバーカードの交付事務

マイナンバーカードは顔写真付きで本人確認書類としても利用できるカードで、地方公共団体システム機構への申請により作成され、市町村窓口で交付されるもので、出生時のマイナンバーの付番及びマイナンバーカードの交付を行った。

マイナンバーカード交付枚数（年度末累計）	597 枚

（３）パスポートの交付事務

一般旅券（パスポート）の交付申請の受付、交付を行った。

交付件数	新規	切替新規	増補	変更	紛失
	127	19	1	0	1

（４）本人通知制度

住民票や戸籍抄本などを代理人や第三者に交付した場合、事前に登録した方に対し通知する制度で、住民票の写し等の不正請求や不正取得による人権侵害の防止や抑止のために、平成 29 年 1 月から実施した。

登録者数（年度末累計）	101 人
通知数（年度末累計）	22 件

（５）人権擁護・啓発の取り組み

心豊かな社会の実現を目指し、基本的人権の尊重について住民の理解が進むよう、「弥彦村人権教育・啓発推進計画」を策定し、人権教育、啓発の強化など環境づくりを進めた。計画の実現に向け、各担当部署での事業計画の進捗確認と村民への周知及び人権意識の醸成を行った。

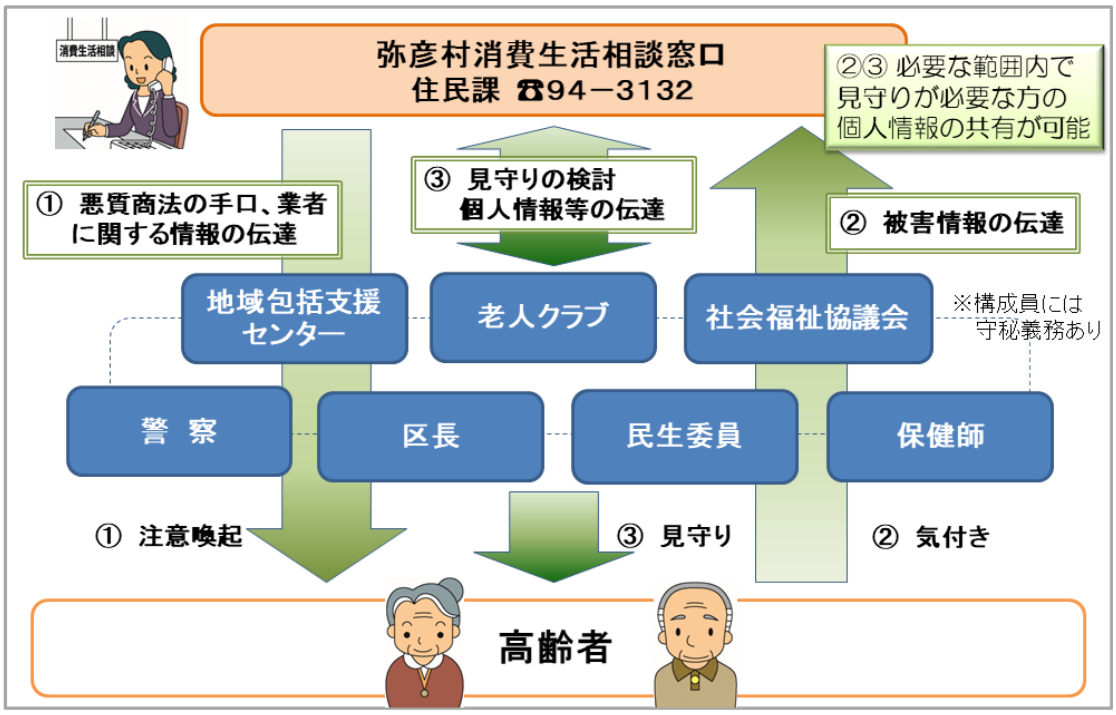
（６）消費者被害の防止

消費者トラブルを未然に防ぐことを目的に、区長・町内会、民生児童委員、老人クラブ、弥彦交番、弥彦村社会福祉協議会、地域包括支援センターで構成する「弥彦村高齢者の消費者被害防止ネットワーク」を平成 29 年に立ち上げ、構成員への情報提供・注意喚起を行った。

【平成 30 年度に実施した事業】

・山崎、鮒穴地区のいきいきサロン啓発講座への講師派遣
・振り込め詐欺防止カレンダーを配布
・弁護士による消費生活相談会を開催

「高齢者の消費者被害防止ネットワーク」弥彦村のイメージ
（消費者安全確保地域協議会）



２　高齢者福祉の着実な実施

（１）高齢者福祉の主な内容

①地域福祉事業

社会福祉協議会と協働し、地域福祉推進事業や福祉・ボランティア団体育成事業の推進を行った。高齢者や障がい者など日常生活に支援が必要と思われる人を地域全体で見守る地域づくりと、行方不明時の早期発見に向けた仕組みづくりを目的とする「おでかけ応援おかえり支援ネットワーク」の整備を行った。

②高齢福祉事業

高齢者が楽しみ交流できる場、孤独感・孤立の解消を図るため、地域で開催されるいきいきサロンの活動に対して補助を行った。多年にわたり社会の発展に貢献された皆様を敬愛し、敬老会を開催した。

③地域支援事業

トピックス平成 30 年度の主な事業「⑤地域包括ケアシステムの構築」参照

④老人クラブ助成事業

弥彦村老人クラブ連合会及び各単位クラブに対し活動の支援を行った。また、地域で見守りが必要な人の家庭を定期的に訪問する活動に対して補助を行った。

（２）認知症初期集中支援事業

認知症の人やその家族の望む暮らしを実現するために、医療や介護の専門職が早期に関わり、自宅に訪問して支援を行う「認知症初期集中支援チーム」を燕市と協働で配置し、活動を始めた。

（３）生活支援体制整備事業

トピックス平成 30 年度の主な事業「⑤地域包括ケアシステムの構築」参照

（４）介護予防・自立支援のための地域ケア個別会議

トピックス平成 30 年度の主な事業「⑤地域包括ケアシステムの構築」参照

3　障がい者福祉の着実な実施

（１）重度心身障害者医療費助成事業

重度心身障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成した。対象は、身体障害者手帳１～３級所持者、療育手帳Ａ、精神保健福祉手帳１級所持者。

受　給　者	件　数	助　成　額
229 人	5, 168 件	18, 578, 696 円

（２）精神障害者医療費助成事業

精神障がい者の精神疾病にかかる医療費の一部を助成した。

受　給　者	件　数	助　成　額
98 人	236 件	1, 957, 589 円

（３）在宅障害者福祉事業

食生活が不安定になりがちな障がい者への配食サービスを行った。また、重度の障がい者を抱える世帯へ経済的支援を行った。

（４）自立支援事業

障がい者（児）の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、障がい者（児）の自立支援を行った。

（５）地域生活支援事業

障がい者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、各種支援を行った。また、重度の身体障がい者（児）に対し、日常生活用具の給付を行った。

4　安心できる医療・介護の実現

（１）国民健康保険の運営

国民健康保険制度の周知を図り、保険税の収納率向上に努めた。保険者として被保険者証の発行及び保険給付、健康管理に関する啓蒙事業等を行った。平成 30 年度からは県単位で広域化され保険者が新潟県となり連携して運営を行った。特定健診、人間ドックの助成を行うなど、疾病予防や病気の早期発見、早期治療を促進した。

主な項目	平成 30 年度
被保険者数	1, 702 人
療養給付額	408, 651, 629 円
高額療養費の支給額	49, 556, 234 円
特定健診の受診者数	355 人
半日ドックの受診者数	286 人
人間ドックの助成者数	129 人

（２）後期高齢者医療の事務

75 歳以上（一定の障がい状態にある人は 65 歳以上）の高齢者を対象とした医療保険制度で、新潟県後期高齢者医療広域連合が保険者となり、主に保険料の決定・賦課、医療給付を実施しているもので、申請書類の受付や保険証の発行、保険料の徴収の事務及び制度周知のための広報を広域連合と連携して行った。

（３）介護保険の運営

保険者として、要介護認定・保険料賦課徴収・予防給付を含む保険給付及び地域支援事業等の業務を行った。

主な項目	平成 30 年度
第 1 号被保険者数（65 歳以上）	2, 465 人
要介護認定者数（65 歳以上）	402 人（387 人）
認定率	15. 7%
介護保険料（現年分）	196, 743, 600 円
介護給付費	695, 531, 649 円
予防給付費	13, 072, 453 円
総給付費	708, 604, 102 円

（４）国民年金の事務

国民年金加入喪失等の受付書類の年金事務所への送付や国民年金に関する制度周知及び相談を行った。

（５）健康増進事業

医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士、歯科衛生士等多職種と連携し、生活習慣病の発症・重症化予防のための取り組みを行った。

（６）住民健診事業

自身の健康状態を把握してもらうため、特定健診（住民健診）、半日ドックを実施した。また、30～74 歳の国民健康保険加入者と後期高齢者医療保険加入者を対象に、人間ドックの助成を行った。

（７）がん検診事業

がんの早期発見・早期治療のためには、がん検診の受診率向上、検診の精度管理が重要である。そのため、各種がん検診を実施し、乳がん検診・子宮がん検診の無料クーポン事業や子宮がん検診の一部医療機関への委託を行った。

（８）予防接種事業

様々な感染症の予防及び流行の防止に向けて、「予防接種法」に基づき予防接種を実施した。また、子ども（０～15 歳）を対象にインフルエンザ予防接種の助成を行った。

妊娠を希望する女性と同居家族や風しん抗体価が低い妊婦の同居家族を対象に、風しん予防接種費用の助成を行った。

（９）結核予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、65 歳以上の方が年１回受けられるよう、胸部レントゲン検診を実施した。

(10) 精神保健・自殺対策事業

こころの健康づくりの重要性や精神疾患や自殺予防の基礎知識を普及するとともに、相談窓口の充実、支援が必要な方の早期発見・早期介入と継続的な支援を多職種と連携して行った。

(11) 母子保健衛生事業

健康の保持増進や疾病の早期発見を目的に、妊婦健診・乳児健診・１歳半健診・３歳児健診を行った。また、妊娠・出産・子育ての不安や悩みが軽減できるよう、助産師や保健師が相談や家庭訪問を実施し、安心して子育てができるよう支援した。

また、特定不妊治療を行っている夫婦に対し治療費の一部助成を行った。

(12) 歯科保健事業

乳児期から仕上げみがき指導、１～４歳まで定期的な歯科健診とフッ化物塗布と歯科相談、保育園・小中学校でのフッ化物洗口によって継続的なむし歯予防を実施した。成人では、お誕生健診や１歳半健診・３歳児健診の保護者を対

象に歯科健診と歯科相談、特定健診（住民健診）や半日ドック受診時にだ液潜血試験を実施、歯や口腔の健康に関心を持ち、日々の口腔ケアに取り組むことができるよう支援した。

【平成 30 年度に実施した事業】

①健口長いき歯科健診（後期高齢者歯科健診）

口腔機能低下や肺炎等の疾病を予防し、心身機能の低下を防止するため、後期高齢者のうち 76 歳・80 歳に到達する者を対象に燕歯科医師会の協力歯科医療機関で歯科健診を実施した。

【令和元年度に実施する事業】

②胃がんリスク検診

40～65 歳の５歳刻みの年齢の者を対象に、将来の胃がん罹患の危険度を判定し、適切な処置につなげて胃がんの予防・早期発見・早期治療を図るため、胃がんリスク検診（問診・採血）を行う。

※直接胃がんを見つけるための検査ではない。

③妊産婦医療費助成事業

妊産婦の疾病の早期発見と治療を促進し、母子保健の向上と胎児の健全育成のため、妊産婦が負担する医療費の一部を助成する事業を開始する。

５　地域における福祉施設の運営

（１）高齢者福祉施設管理運営事業

老人憩いの家「観山荘」、生活支援ハウス「ほがらか荘」、認知症高齢者グループホーム「こいて」の管理運営を行った。

なお、「ほがらか荘」および「こいて」はそれぞれ指定管理者制度を活用し、運営を委託している。

施　　設	受　託　者	指定管理料
生活支援ハウス ほがらか荘	弥彦村社会福祉協議会	8,001,490 円
認知症高齢者グループホーム こいて	桜井の里福祉会	介護保険サービスで対応

（２）地域交流施設管理事業

地域交流の促進を図る場として、「夢の木はうす」及び「地域交流センター」の管理を行った。

（３）高齢者総合生活支援センター管理運営事業

村民の健康増進や介護予防の場として、温泉施設「高齢者総合生活支援センター」の管理運営を行った。

第５　産業の振興に向けた取り組み

１　農業の振興

（１）新規就農希望者支援

農業就業者の高齢化が進んでいる中、Ｕ・Ｉターン者を含む新規就農者の確保が課題であり、関係機関と連携して新規就農者への支援の充実を図っていくことが必要である。

新規就農希望者を支援するため、平成 30 年度から生産者もしくは農業法人が新規就農希望者を受け入れた場合の研修経費の一部（最長２年）を助成している。この助成は、自営就農に必要な農業技術や農業経営知識等を習得するため、受入農家等が行う実践研修が対象となっている。

なお、国は新規就農希望者に農業次世代人材投資資金として、就農前の研修を後押しする資金（最長２年）を交付する制度もある。

【平成 30 年度に実施した事業】

・新規就農希望者研修受入支援助成事業　２件　240 千円

■新規就農希望者研修受入支援助成事業の実施状況

年　度	新規就農希望者	村内受入支援先
平成 30 年度	１名	生産者１、法人１
令和元年度	１名	法人１

（２）担い手支援

農業就業者の高齢化が進んでいる中、担い手や新規就農者には重労働を補助し、もしくは経営拡大するための農業用機械や施設は必要不可欠である。農業振興と農業所得の向上を図るため、農業者や農業法人等に農業用機械購入や農業用ハウス等施設導入に要する経費の一部を助成している。

【平成 30 年度に実施した事業】

・農業者支援事業補助金　　779 千円

■認定農業者数

年　度	認定数
平成 29 年度	93 経営体
平成 30 年度	92 経営体

■農業者支援事業補助金の交付状況

年　度	申請者数	決定者数	事業費	補助金額
平成 29 年度	９件	５件	3, 876, 492 円	1, 481, 000 円
平成 30 年度	４件	４件	2, 267, 920 円	779, 000 円

（３）農地の集積・集約化

農業経営基盤強化促進法に基づく利用権の設定や農地中間管理事業による機構集積協力金交付金事業等を活用し、農地の集積・集約化に伴う農業基盤整備を促進している。

なお、農地中間管理事業では、人・農地プランによる地域での話し合いに基づいて農地中間管理機構にまとまった農地を貸し付けた地域や、農地を貸し付けて担い手への農地集積・集約化に協力する農地の出し手に機構集積協力金を交付している。

【平成 30 年度に実施した事業】

・機構集積協力金　　８件　1, 690 千円

■農地利用集積円滑化事業の実施状況

年　度	申請者数	面積
平成 29 年度	７件	4. 71ha
平成 30 年度	10 件	2. 99ha

■利用権設定等の実施状況

年　度	利用権設定（新規・更新）		所有権移転	
	件数	面積	件数	面積
平成 29 年度	139 件	71. 99ha	５件	1. 03ha
平成 30 年度	61 件	31. 00ha	１件	0. 04ha

■人・農地プラン作成済みの地区：大戸、上泉、平野・荻野、鮒穴・楊枝潟

（４）農地の整備促進

農村地域では過疎化や高齢化といった問題を抱えており、農地、水路や農道などの農業用施設を農業者だけで守って行くことは困難である。よって、農地や農業用施設、農村環境を維持保全する活動を支援するため、多面的機能支払交付金を農業者等で構成する活動組織に交付している。

なお、交付金の内容は農地法面の草刈りや水路の泥上げ、農道の砂利敷き等の地域資源の基礎的保全活動を図る「農地維持支払」、水路や農道の軽微な補

修等の地域資源の質的向上を図る「資源向上支払（共同活動）」と農業施設の長寿命化を図る「資源向上支払（施設の長寿命化）」がある。

【平成 30 年度に実施した事業】

・多面的機能支払交付金　55,030 千円

■多面的機能支払交付金の実施状況（村内）

年度	活動内容	活動組織数	対象面積	事業費
29年度	農地維持支払	13	75,419a	22,555,800 円
	資源向上支払（共同活動）	5	27,286a	4,066,380 円
	資源向上支払（施設の長寿命化）	11	63,044a	27,572,320 円
30年度	農地維持支払	14	78,326a	23,427,600 円
	資源向上支払（共同活動）	5	27,286a	4,066,380 円
	資源向上支払（施設の長寿命化）	12	65,951a	27,536,000 円

※事業費の補助率：国 1／2、県 1／4、村 1／4

（５）食の安全・安心　－ＪＧＡＰ－

ＪＧＡＰは認証制度であり、農林水産省が導入を推奨する食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理手法のことである。

同制度を多くの農業者や産地が取り入れることにより、結果として持続可能性の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化に資するとともに、消費者や実需者の信頼の確保が期待されるため、取得や更新費用を助成している。

【平成 30 年度に実施した事業】

・日本版適正農業規範（ＪＧＡＰ）認証取得促進事業　　３件　150 千円

【参考】ＪＧＡＰ認証取得済み農業者　４法人

（６）環境保全型農業

適切な農業生産活動を通じて農地の環境保全を進める観点から環境保全型農業の確立を目指すため、化学肥料・化学合成農薬を使用しない有機農業、化学肥料・化学合成農薬を原則５割以上低減する取り組みと併せて行う地球温暖化防止や生物多様性に効果のある冬期間、ほ場に湛水を行う等の営農活動に取り組む農業者組織の団体等に、環境保全型農業直接支払交付金を交付している。

【平成 30 年度に実施した事業】

・環境保全型農業直接支払交付金　　3,742 千円

■環境保全型農業直接支払交付金の実施状況

年度	取組農業者	取組内容	事業費
平成 29 年度	２活動組織 （４法人６個人）	○１取組目 冬期湛水　6, 586a 堆肥施用　77a 有機農業　322a ○２取組目 冬期湛水　227a 堆肥施用　617a	4, 019, 860 円
平成 30 年度	２活動組織 （３法人６個人）	冬期湛水　6, 580a 堆肥施用　834a 有機農業　188a	3, 741, 760 円

※事業費の補助率：国 1／2、県 1／4、村 1／4

■高付加価値米の取組状況

取組内容	平成 29 年度	平成 30 年度
無農薬無化学肥料栽培米	3. 8ha	2. 3ha
減農薬減化学肥料栽培米（減減 60）	106. 3ha	107. 0ha
減農薬減化学肥料栽培米（減減 50）	81. 9ha	132. 3ha

（７）弥彦村産米のブランド化

トピックス

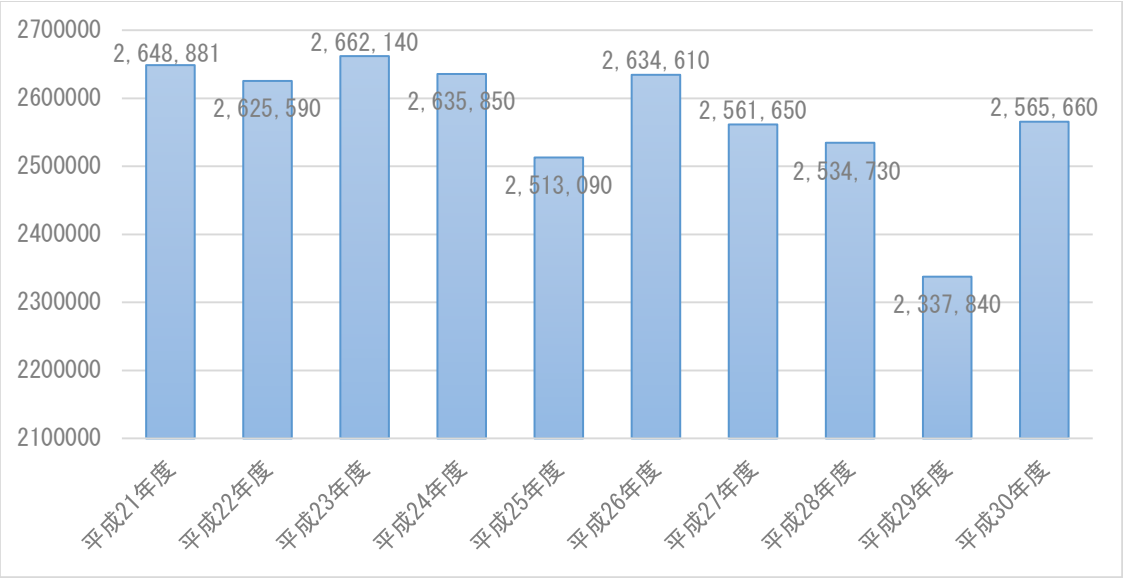
平成 30 年度の主な事業「①弥彦村産米のブランド化　－伊彌彦米－」参照

2　観光の振興

（１）観光入込客数の動向

平成 30 年度の弥彦村の観光入込客数は 256 万人（前年比+22 万人）。特に弥彦公園の入込客数が増加傾向にある。

【観光入込客数の推移】



（２）観光施設の活用

①おもてなし広場

トピックス　平成 30 年度の主な事業「②おもてなし広場」参照

②駅前広場湯のわ

足湯・駐車場・イベント広場を備える「湯のわ」が平成 30 年 7 月にオープンした。管理は（一社）弥彦観光協会に委託している。

③ヤホール

弥彦公園に隣接するヤホールを活用し、観光の活性化を図っている。平成 30 年度の一般利用は 16 件。

（３）主な祭事・イベントの実施

名　　称	入込客数	前年比
湯かけまつり・桜まつり	4, 500 人	＋1, 500 人
燈籠まつり	23, 000 人	＋11, 000 人
菊まつり	170, 000 人	＋10, 000 人

（４）新たなイベント等の取り組み

①菊づくり教室

減少する菊づくり後継者育成のため、平成 29 年度より始めた「菊づくり教室」を継続して行っている。

②伊勢ヶ濱部屋夏合宿

平成 27 年度より、彌彦神社相撲場を活用した「相撲プロジェクト」で、伊勢ヶ濱部屋夏合宿の公開朝稽古を行っている。

③山の日イベント

平成 28 年度より、国民の祝日「山の日」が新設されたため、弥彦山にちなんだイベントを開催している。

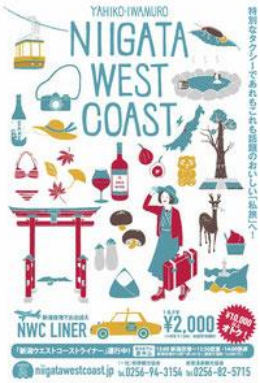
（５）広域観光の推進

①燕市との広域観光

定住自立圏構想により燕市と連携して観光ＰＲを行い、首都圏および台湾からの誘客に力を入れている。

②新潟空港二次交通事業（新潟市との広域観光）

平成 30 年３月に関西空港⇔新潟空港で新たに就航した LCC（Peach）便に合わせ、弥彦温泉・岩室温泉までの二次交通を７月から運航。関西圏へのＰＲ事業としてポスター・チラシを作成するなど、観光客取込に力を入れている。



（６）外国人観光客への対応

近年、弥彦村でも外国人観光客数は増加している。平成 30 年度の弥彦温泉への宿泊者数は 935 人（前年比+376 人）。平成 28 年度にはオディゴと契約し、外国人観光客向けにＷＥＢを活用した情報発信を行っている。また、平成 31 年２月に弥彦観光案内所は、ＪＮＴＯ認定カテゴリー１（観光庁が定める外国人観光案内所認定制度）を取得した。

（７）まちあるきの推進

新たにできた弥彦駅前広場湯のわから、おもてなし広場を通り彌彦神社まで、弥彦の「まちあるき」をＰＲする取り組みを行っている。３か所の足湯（湯のわ、おもてなし広場、みのや）や彌彦神社摂社末社、巨木などを巡るコースの造成に取り組んだ。また、「まちあるきＭＡＰ」のリニューアルを行うと同時に、インバウンド対策として、同マップの英語版と中国語版の作成も行った。

（８）地域おこし協力隊

弥彦村で初となる地域おこし協力隊を平成 30 年度に２名採用した。

氏　名	勤務場所	主な業務内容
遠藤　佑香	弥彦観光協会	ＳＮＳによる情報発信
松本英津子	弥彦村役場	インバウンド（英語）対応

【令和元年度に実施する主な観光事業】

■新潟空港からの二次交通「ウエスト・コーストライナー」の復路便を７月より運行開始。関西圏へのＰＲ事業を強化する。

■燈籠まつり前夜祭の民謡流しの参加者が年々減少しているため、一般参加者を募集する。

■ＪＲ燕三条駅と共同で「旅の目的（コト）創りプロジェクト」を開始。弥彦へ来てもらう目的づくり（イベント開催など）を行い、次年度以降も継続する。

■観光案内所で日本人・外国人向けに観光に関するアンケートを実施する。
また、インバウンド対策として、外国人を対象とした聞き取り調査も実施予定。

３　商工業の振興

（１）中小企業の資金調達支援

中小企業の資金調達を支援するため、保証料の負担や金融機関への資金の預託を行っている。

①信用保証協会の保証料の負担

中小企業の資金借入に伴う保証料負担を軽減するため、新潟県信用保証協会の保証料負担を行っている。

保証料負担	17 件	230 万円

②産業育成資金預託金の預託

中小企業の資金借入の円滑化のため、金融機関へ預託金の預託を行っている。

預託金	産業育成資金	5, 000 万円	
	商工観光振興資金	6, 500 万円	
貸付金	産業育成資金	２件	740 万円
	商工観光振興資金	６件	2, 325 万円

【令和元年度に実施する事業】

■既存の中小企業者の事業活性化のため、商工観光振興資金の利率を引き下げる。（1. 6～2. 1％→1. 5％）

■創業者支援のため、「創業支援資金利子補給金」制度を新設。

第６　広域的な交流の促進

１　国際交流の推進

（１）モンゴル国との取り組み

①国際交流事業

大相撲横綱日馬富士関の彌彦神社土俵入りをきっかけに、モンゴル国との交流が開始され、平成 27 年にはモンゴル国トゥブ県エルデネ村と友好都市協定を締結。以降、両村の子どもたちの交流を中心に活動が行われている。

【平成 30 年度の主な活動】

・弥彦中学校の生徒６名によるエルデネ村訪問団派遣事業実施
　期間：８月６日～10 日

（２）新たな交流の取り組み

①墨田区交流事業

平成 29 年度より、墨田区および墨田区観光協会等との交流推進を図るため、現地のイベントへの参加を行っている。

【平成 30 年度の主な活動】

・東京スカイツリー「beautiful NIPPON」PR コーナー出店
　期間　３月 15 日～21 日

②地方創生推進交付金関係の取り組み

地方創生推進交付金を活用し、長岡市を中心とした中越文化産業創造機構および三条市を中心とした東京オリンピック・パラリンピック首長連合に参加。

【平成 30 年度の主な活動】

・越後三大紅葉ライトアップスタンプラリー（弥彦村・長岡市・柏崎市）
・東京オリンピック・パラリンピック首長連合
　（弥彦村・三条市・三重県鈴鹿市・三重県菰野町）

第７　財政健全化の取り組み

１　歳入・歳出の状況

（１）歳入・歳出の構造

歳入･歳出の状況として､今後村所有施設の修繕費が膨らむことが予想され、当初予算編成時において既存事業の事業効果を再検討し､スクラップ＆ビルドの手法を取り入れ、一層の経費節減に取り組む。また、今後の財政状況に影響する村債では、毎年度の起債可能上限額は公債費の元金償還額以下とし、縮小に努める。

（２）村債の状況・償還見通し

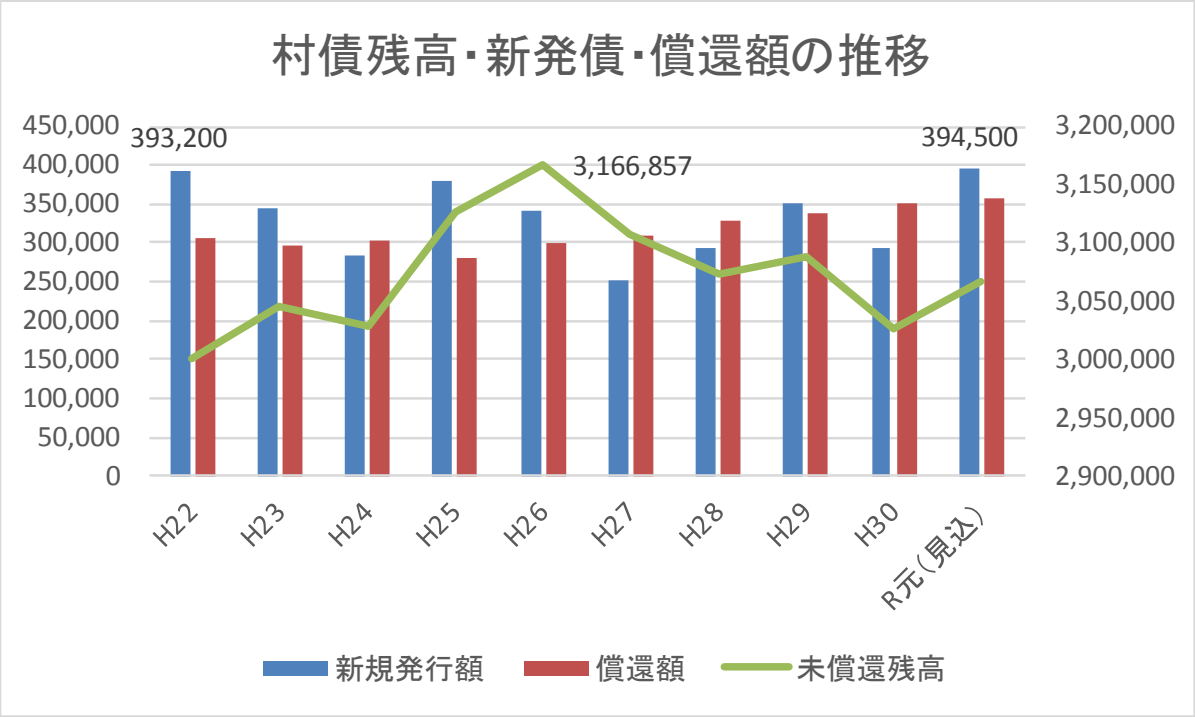
村債残高については、過去 20 年においては平成 26 年度の 3,166,857 千円が最大となっている。平成 23 年度の新規発行より全ての借入を元金均等償還に切り替えたことにより、年度を追うごとに元金償還額が増加する一方、残高は減少傾向にある。令和元年度においては学校教育施設整備事業債が非常に多額となるため、年度末残高が増加する見込みである。

【平成 30 年度に新たに発行した村債】291,900 千円

H29→30 繰越事業分	87,800 千円
・道路整備事業債	31,300 千円
・雪害対策事業債	11,600 千円
・都市再生整備事業債	17,800 千円
・学校教育施設整備事業債	27,100 千円
H30 事業分	204,100 千円
・県営土地改良事業債	2,300 千円
・道路整備事業債	20,500 千円
・雪害対策事業債	37,700 千円
・社会体育施設整備事業債	5,600 千円
・緊急防災・減災事業債	3,400 千円
・臨時財政対策債	134,600 千円

【令和元年度に発行が見込まれる村債】

H30→R 元繰越事業分	86, 100 千円
・県営土地改良事業債	4, 900 千円
・道路整備事業債	3, 300 千円
・雪害対策事業債	5, 600 千円
・学校教育施設整備事業債	72, 300 千円
R 元事業分	308, 400 千円
・県営土地改良事業債	8, 800 千円
・道路整備事業債	41, 600 千円
・雪害対策事業債	10, 200 千円
・学校教育施設整備事業債	108, 800 千円
・県単急傾斜地崩壊対策事業債	10, 000 千円
・緊急防災・減災事業債	16, 000 千円



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元(見込)
新規発行額	393,200	343,300	285,100	378,300	341,900	251,100	293,900	352,100	291,900	394,500
償還額	304,565	297,889	302,659	280,536	301,004	310,570	327,432	338,444	352,194	355,778
未償還残高	3,000,345	3,045,756	3,028,197	3,125,961	3,166,857	3,107,387	3,073,855	3,087,511	3,027,217	3,065,939

（３）職員数の推移

①正職員（毎年４月１日）（　）内の数は再任用職員

	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年
職員数	93	92	88
うち　事務職	67	68	65（１）
保育士等	22（１）	20（１）	21（２）
調理員	2	2	0
技師	1	1	1
用務員	1	1	1
新採用	11	2	9
退職者	6	3	10

※3 人水道業務で出向

②臨時職員（社会保険加入の非常勤職員）

平成 29 年 4 月時点		平成 30 年 4 月時点		平成 31 年 4 月時点	
区　分	人数	区　分	人数	区　分	人数
一般事務（役場内勤務）	3	一般事務（役場内勤務）	5	一般事務（役場内勤務）	6
郵便局	2	郵便局	2	郵便局	2
保育士	40	保育士	43	保育士	41
キッズ指導員	11	キッズ指導員	11	キッズ指導員	11
学習支援講師	8	学習支援講師	7	学習支援講師	8
管理指導主事	1	管理指導主事	1	管理指導主事	1
用務員	2	用務員	2	用務員	2
競輪従事者	2	競輪従事者	2	競輪従事者	4
介助員	6	介助員	7	介助員	8
司書	1	司書	1	司書	1
図書館事務	1	図書館事務	1	図書館事務	1
調理員	1	調理員	3		
		観光協会職員	1	観光協会職員	1
				地域おこし協力隊	2
				教育課運転手	1
再任用	2	再任用	1	再任用	4
	80		87		93

２　ふるさと納税

（１）ふるさと納税の状況

平成27年度よりインターネットポータルサイト「さとふる」での掲載を開始、平成29年度からは「ふるさとチョイス」での取り扱いも開始し、ふるさと納税事業を本格的に取り組んできた。

返礼品の割合では、ブランド米として立ち上げた「伊彌彦米」を中心とした米が42,837件（79.3%）・78,836千円（77.1%）、金属製品が7,245件（13.4%）・102,129千円（16.4%）となっている。

【件数】　（単位：件）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
さとふる			10,626	33,008	38,544	48673
チョイス					1,468	5017
直接	1	7	30	57	69	303
	1	7	10,656	33,065	40,081	53,993

【金額】　（単位：千円）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
さとふる			111,618	358,015	403,150	526,034
チョイス					25,636	89,470
直接	10	260	512	1,457	1,956	5,245
	10	260	112,130	359,472	430,742	620,749

【令和元年度に実施する事業】

三越伊勢丹がポータルサイトを立ち上げるに際し、弥彦村も返礼品を掲載する方向で協議中であり、既存のポータルサイトユーザーとは異なる寄附者層からの寄附の獲得に取り組む。

３　税収の状況

（１）村税の収納状況（現年・滞納合計）（単位：千円・%）

税　　目	平成 29 年度	平成 30 年度	前年比	令和元年度予算
村民税	326, 413	332, 884	102. 0	322, 000
法人村民税	43, 468	41, 219	94. 8	36, 001
固定資産税	471, 525	456, 774	96. 9	460, 001
軽自動車税	25, 570	26, 296	102. 8	27, 100
たばこ税	56, 494	50, 601	89. 6	58, 005
普通税計	923, 470	907, 774	98. 3	903, 107
入湯税	19, 783	19, 771	99. 9	20, 050
国民健康保険税	173, 377	158, 306	91. 3	157, 113
介護保険料	193, 467	197, 276	102. 0	194, 500
後期高齢者保険料	47, 507	52, 509	110. 5	56, 276
合　　計	1, 357, 604	1, 335, 636	98. 4	1, 331, 046

４　競輪運営の改善

（１）競輪開催の状況

弥彦競輪場は全国唯一の村営競輪場である。冬期間は雪の影響で本場開催ができないため、11 月上旬で本場開催を終える。場外発売は年間を通して実施している。

【平成 30 年度に実施した事業】

①開催日数

ＧⅢ(記念)	ＦⅠ	ＦⅡ	ＦⅡ(ﾐｯﾄﾞﾅｲﾄ)	場外昼間	ﾅｲﾀｰ場外
4 日	15 日	15 日	24 日	298	25

②入場者数

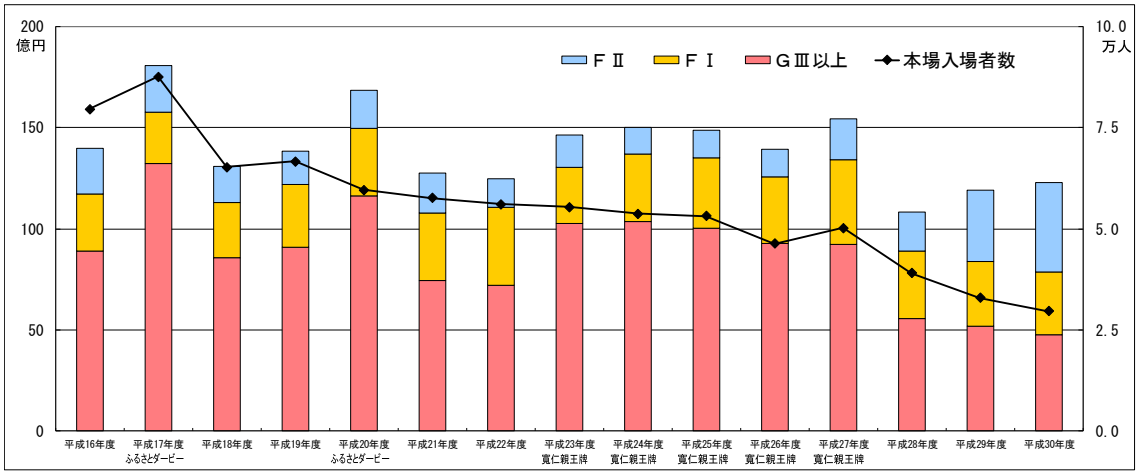
・本場開催	29,641 人
・場外発売	145,636 人
計	175,277 人

③売　上

・本場開催	122 億 6,462 万 6,800 円
・場外発売	16 億 6,722 万 4,100 円
計	139 億 3,185 万　900 円

④一般会計への繰り出し金　7,000 万円

弥彦競輪　売上と入場者数の推移【平成16年度～平成30年度】



（　売上単位：千円　　入場単位：人　）

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催日数		63	70	67	64	58	58	58	52	58	58	49	49	43	55	58
本場入場		79,569	87,605	65,237	66,654	59,574	57,576	56,003	55,366	53,721	53,147	46,298	50,236	39,004	32,887	29,641
１日平均入場		1,263	1,251	973	1,041	1,027	992	965	1,064	926	916	944	1,025	907	888	871
売上	本場	1,470,406.1	1,431,072.5	966,211.5	998,404.1	974,640.4	793,748.9	767,635.0	734,815.7	696,348.1	659,125.3	554,997.9	559,728.6	364,978.0	314,245.1	275,929.7
	電話投票	1,571,013.5	2,240,282.5	1,753,997.1	2,034,396.9	2,652,895.9	2,263,839.9	2,336,211.6	3,032,718.2	3,036,120.0	2,960,984.8	2,970,133.0	3,324,390.1	2,577,915.5	3,082,081.5	3,223,607.5
	場外	10,953,797.7	14,403,566.7	10,367,145.9	10,780,004.7	13,213,836.7	9,673,374.5	9,325,906.0	10,779,791.4	11,220,588.0	11,216,373.1	10,350,912.6	11,496,325.2	7,852,761.1	8,469,733.4	8,721,933.8
	重勝式							20,966.7	72,710.2	37,595.8	41,358.1	44,349.8	46,833.9	26,542.8	61,079.9	43,155.8
	計	13,995,217.3	18,074,921.7	13,087,354.5	13,812,805.7	16,841,373.0	12,730,963.3	12,450,719.3	14,620,035.5	14,990,651.9	14,877,841.3	13,920,393.3	15,427,277.8	10,822,197.4	11,927,139.9	12,264,626.8
	グレード別 ＧⅢ以上	8,899,793.3	13,214,047.6	8,557,447.0	9,072,493.2	11,621,792.5	7,435,012.3	7,184,769.9	10,263,486.5	10,330,720.7	10,016,647.1	9,281,052.0	9,207,639.9	5,569,627.1	5,171,673.6	4,735,810.6
	ＦⅠ	2,807,404.2	2,551,731.0	2,757,108.9	3,105,883.3	3,353,221.8	3,351,261.5	3,855,200.4	2,751,237.7	3,363,624.5	3,471,972.8	3,273,431.5	4,210,804.9	3,336,773.2	3,186,660.3	3,134,412.1
	ＦⅡ (MN含む)	2,288,019.8	2,309,143.1	1,772,798.6	1,634,429.2	1,866,358.7	1,944,689.5	1,410,749.0	1,605,311.3	1,296,306.7	1,389,221.4	1,365,909.8	2,008,833.0	1,915,797.1	3,568,806.0	4,394,404.1
備考		※中越地震により7日間中止							※東日本大震災により6日間中止				※内前橋MN売上391,750.3(枠外)	※内前橋MN売上814,973.4(枠内)	※内ミッドナイト6節18日	※内ミッドナイト8節24日

（２）収益改善に向けての取り組み

①ミッドナイト競輪の開催

平成 23 年１月から始まったミッドナイト競輪は、21 時以降の深夜の時間帯でレースが開催される。当初の見込みを大きく上回る勢いで売上が伸びており、弥彦競輪場では平成 29 年度から開始した。

収益を一般会計へ繰り出し、弥彦村民生活向上へより一層貢献するため、弥彦競輪の収益改善に取り組んでいる。

【平成 30 年度に実施した事業】

２年目となる平成 30 年度は 24 日間開催。弥彦ミッドナイト競輪の１日平均売上は、約１億４千万円で通常の昼間開催の 2.3 倍にもなり、この開催により収益は大幅に改善された。

②ナイター競輪開催及び特別競輪誘致

開催時間が、昼間開催とミッドナイト開催の中間的な位置付けであるナイター競輪を令和元年度に本場開催する。最終レースが 20 時過ぎとなるため、主に昼間の開催時間に来場できず、車券購入ができないお客様がターゲットとなる。

また、競輪界最高グレードレース（ＧＩ）の誘致に取り組み、より一層の収益改善を図る。

【平成 30 年度に実施した事業】

令和元年度に弥彦競輪初の本場ナイター競輪を開催するにあたり、入念な準備を実施。主に周辺地域の皆様への説明、関係者との打ち合わせ、夜間来場するお客様の安全を確保するため場内照明設備の増設を実施した。照明設備は、特別観覧席棟周辺とスタンド席に増設し、全額で 4,352,400 円となった。

【令和元年度に実施する事業】

弥彦ナイター競輪については周辺地域の皆様の協力が必要な開催であるが、収益改善のために１節３日間開催する。

特別競輪誘致について、弥彦競輪場では、平成 23 年度から 27 年度までＧＩの一つである寛仁親王牌を開催していた。その後、平成 28 年度から令和２年度までは、寛仁親王牌発祥の地である前橋競輪場での開催が決まっている。

過去５年連続で開催した実績と知識を生かして、令和元年度から２年度にかけて実施する施設改修も併せながら、令和３年度以降の誘致を目指す。

（３）選手育成事業及びバンク活用事業　－ＣＬＵＢ　ＳＰＩＲＩＴＳ－

自転車競技の普及、及び競輪選手の育成を目的としたクラブチームを平成22 年１月に発足し、そのメンバーを活用した各種新規事業を実施し、来場促進及び活性化を目指す。

健康志向の高まりや､エコ意識の高まりにより自転車への関心が集まっており、クラブチームの活動がより活性化している。

一般財団法人弥彦サイクリングパークが事業の実施主体となり､公営競技事務所が実質の運営を行っている。

【平成 30 年度に実施した事業】

①「ＣＬＵＢ　ＳＰＩＲＩＴＳ」エキスパートクラス

ガールズケイリンを含む、競輪選手を目指す方や、自転車トラック競技に真剣に取り組みたい方など、上級者向けのクラス。平成 30 年度は男子７名が所属し、全員が日本競輪学校を受験した結果、１名が合格した。

②「ＣＬＵＢ　ＳＰＩＲＩＴＳ」フレンドリークラス

自転車競技を楽しむ初心者～中級者のクラス。月１、２回程度のバンク練習日を設け、自転車トラック競技の普及を図っている。

【平成 30 年度開催実績】

実施回	実施日	参加者数
第１回	4 月 21 日（土）	28 名
第２回	5 月 13 日（日）	15 名
第３回	5 月 26 日（土）	14 名
第４回	6 月 10 日（日）	16 名
第５回	6 月 24 日（日）	29 名
第６回	8 月 18 日（土）	53 名
第７回	9 月　2 日（日）	33 名
第８回	9 月 15 日（土）	11 名
第９回	10 月 14 日（日）	10 名
第 10 回	10 月 27 日（土）	8 名
第 11 回	11 月 17 日（土）	8 名
合　計		225 名

③タイムトライアル大会

自転車競技の普及、競技者や指導者などの育成・拡大を目的として実施。親子で楽しめるレジャー施設として利用してもらい、自転車を身近な楽しめるスポーツとしてＰＲできた大会となった。

・実 施 日　9 月 29 日（土）　・参加者数　47 名

（４）弥彦競輪場整備事業

老朽化が著しい施設の整備を実施する。主なものとしては、GⅢ以上の開催度に記者席や来賓席が不足するため、仮設観覧席を設置することにより対応していたが、毎回経費負担も多大になるため、常設の施設を新築する。

【平成 30 年度に実施した事業】

①弥彦けいりん会館改修

ガールズ選手が宿泊できるように、弥彦けいりん会館を改修し、ガールズ宿泊室の増設と女性専用風呂場の増設を行った。改修費は 46,440,000 円。

【令和元年度以降に実施する事業】

①宝光院側観覧席新築工事

宝光院側入場口付近に観覧席の新築工事を実施し、記念競輪の度に設置していた仮設観覧席設置費用の経費削減を図り、最高グレードレースのＧＩ誘致に向け、弥彦競輪場の存在価値をより一層高める。

②セダーハウス改修工事

老朽化したセダーハウスを改修し、新たな客層として女性グループやファミリー層、また、村民の方々が気軽に来場できるように、フードコート・キッズ広場等を新設する。

③バンク内ステージ改修工事

バンク内にあるステージを改修し、競輪以外のイベント等でも使用できるように工事を実施する。

④ロイヤルルーム壁面目地修繕

平成５年に建築したロイヤルルームの壁面目地が劣化しているため、修繕を実施する。

⑤ゴール前スタンド改修

空調完備のガラス張り一般観覧席を設置することで、お客様サービスの向上や特別競輪誘致のための好材料とする。

宝光院側新観覧席イメージ

宝光院側新入場口イメージ

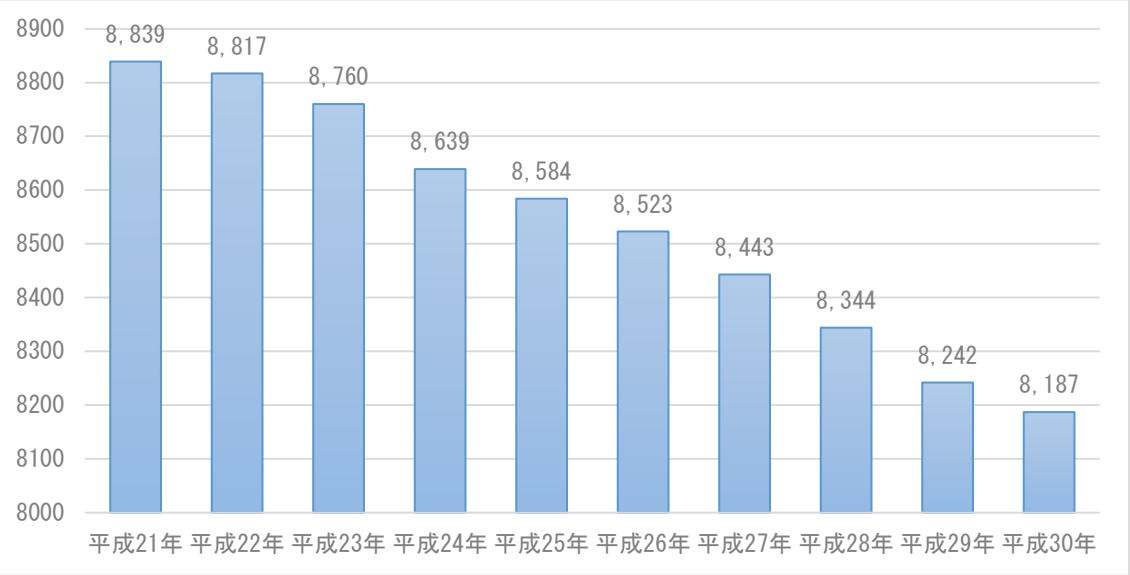
第８　人口減少対策

１　人口移動および人口動態

（１）人口移動および人口動態　　（平成 31 年３月 31 日現在）

人口移動（人）	出生	死亡	転入	転出	
	47	109	143	191	
人口動態（件）	出生	死亡	婚姻	離婚	死産
	47	105	17	10	0

【毎年 10 月 1 日現在の人口の推移】※住民基本台帳の人口



２　人口減少問題への取り組み

（１）移住促進事業

①弥彦村移住促進事業費補助金

弥彦村に転入してから２年以内に住宅を新築もしくは購入された方で５年間住み続ける方に対し、村内工務店であれば 40 万円、その他村外メーカーであれば 20 万円を補助している。

平成 29 年度に役場隣地に団地が造成されたため、平成 29・30 年度においては補助件数・金額ともに多かった半面、転入お祝い金的な側面は否めず、この制度が転入の動機付けとなるよう、また村内工務店の受注機会の確保に向けた取り組みが重要であると考えている。

（単位：万円）

		27年度	28年度	29年度	30年度	合計
村内	件数	2	1	1	2	6
	金額	80	40	40	80	240
村外	件数	2	3	20	11	36
	金額	40	60	400	220	720
合計	件数	4	4	21	13	42
	金額	120	100	440	300	960

②新潟県の各種移住補助金

新潟県が推進する移住等に関する補助金の申請受付等を行っているが、要件がすべて県外からの移住に限定されていることから、対象となる案件が無い状態が続いている。

③Ｕ・Ｉターンへの取り組み

県主催の移住フェアに参加し、移住に関する情報を発信した。

■期　　日　平成 30 年 12 月 16 日

■会　　場　東京有楽町　東京交通会館ビル

■応対件数　16 組 19 名

（２）空き家問題・空き家バンク

平成 30 年 8 月に村内全域を対象として空き家等実態調査を実施し、村内の空き家戸数等の把握を行った。

【弥彦村の空き家の状況】

状　　況	戸数(戸)	割合(%)
建物に目立った腐朽破損はなく、空家の状態で、今後の利活用が見込まれる	87	56.9
外壁や屋根、窓等に腐朽破損はあるが、一部修繕に利活用が見込まれる	35	22.9
外壁や屋根、窓等に腐朽破損や老朽により、利活用には大規模改修が見込まれる	23	15.0
建物の傾き、外壁・屋根等の腐朽破損が著しく、今後の利活用が不可能である	6	3.9
建物の傾き、外壁・屋根等の腐朽破損が著しく、倒壊の恐れが認められる（倒壊した場合、隣接建物に影響がある又は前面道路の通行に影響がある）	2	1.3
合計	153	100.0

①空き家等の対策に関する協定締結

団　体　名	業務内容
新潟県司法書士会	不動産登記、相続、財産管理など
新潟県宅地建物取引業協会	空き家の有効活用、不動産登記など
弥彦村建設業協同組合	空き家の解体、改修、除雪など
弥彦村建築業組合	空き家の改築など
弥彦村シルバー人材センター	除草、樹木剪定など

②空き家住宅リフォーム助成　申請件数：１件　助成金額：100,000 円

③空き家バンク　登録件数：６件（H29 3 件　H30 6 件）

（３）婚活事業

出生率低下の要因となっている「未婚化・晩婚化」に対する取り組みとして、独身男女に「出会いの場」を創出する。

【平成 30 年度に実施した事業】

①お寺 DE 縁結び　９月 16 日（日）

参加者　男性 16 名　女性 16 名

結　果　２組カップル成立

②燕・弥彦ゴールデンルートで結ぶ独身社員交流ツアー　10 月 21 日（日）

参加者　男性 15 名　女性 12 名

結　果　３組カップル成立

③弥彦大戸企業団地異業種交流会　12 月 13 日（木）

参加者　男性 17 名　女性 13 名

結　果　カップリングは未実施

第９　その他の行政事務

１　広報発行業務

毎月 25 日に「広報やひこ」を発行し、村からのお知らせや村の出来事を、村民にわかりやすく伝えることを心がけた。裏表紙には広報のタイトルにもなっていた「やひこびと」コーナーを設定し、村民を紹介しながら親しみを持ってもらえるように工夫した。

■広報発行業者　㈱タカヨシ

２　選挙事務

【平成 30 年度に実施した選挙】

・新潟県知事選挙　　5 月 24 日告示　　6 月 10 日投票

有権者数　6,849 人　　投票者数　4,547 人　　投票率 66.39%

・弥彦村長選挙　　1 月 22 日告示　　1 月 27 日投票

有権者数　6,857 人　　投票者数　5,072 人　　投票率 73.97%

【令和元年度に実施する選挙】

・弥彦村議会議員選挙　4 月 16 日告示　　4 月 21 日投票

有権者数　6,798 人　　投票者数　5,042 人　　投票率 74.17%

・参議院議員通常選挙　7 月 4 日告示　　7 月 21 日投票

有権者数　6,870 人　　投票者数　4,150 人　　投票率 60.41%